

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月9日（月）18:00～21:00

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 佐藤・久木田・横田・志戸田・武田・上出・大三島・橋本古川・杉本・駒井・田中

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		事 5人 個 7人	事 7人 個 5人		12人
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	事 1人 個 1人	事 11人 個 10人	個 1人		12人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	事 2人	事 9人 個 10人	事 1人 個 2人		12人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	事 1人 個 2人	事 11人 個 8人	個 2人		12人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	個 2人	事 8人 個 7人	事 4人 個 3人		12人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・新規の利用者を受け入れ時に、初期支援チームを作り、本人や家族の状況や想いや考えなどの情報共有を図り、本人、家族への支援を統一していく。本人、家族が事業所に慣れ、居宅サービス計画書の軌道に適切に乗っかるまで適宜、評価を実施していく。必要に応じて、居宅サービス計画書の変更も検討していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない C: 支援チームの立ち上げや居宅サービス計画書の変更検討は出来なかった。初期支援時の本人や家族の状況については、事前に会議や書面にて情報提供を図ることが出来ている。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・事前の情報提供から、必要な情報を読み取り、支援に臨むことが出来ている。 ・利用者、家族の初期支援時に抱える不安などに対して、意識的に職員が関わることが出来ており、業務日誌や連絡ノート、記録から情報共有を図っていた。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・チーム全体として情報を共有する場や情報を記録する機会を持つことができず、申送りや会議等で情報共有を図っていたが、個人の情報の受け取り方や情報量の差があり、支援の統一まで至っていない。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること ・利用開始直後は、それぞれ職員が持っている情報を、他の職員に共有することが出来ていなく、利用者に対してのかかわり方や支援にチームとして実践出来ていない。これまでの申送りや全体会議では、報告のみになっていることが多く、利用者の個別理解に結びついていなかった。
------------------------	--

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・初期支援時や状況変化のある利用者について、固定的なメンバーではなく、毎回メンバーを入れ替えながら、利用者についての個別の課題分析を全体会議前に行ない、全体会議で検討と合意形成を図り、支援の統一を目指していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月9日（月）18:00～21:00

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 佐藤・久木田・横田・志戸田・武田・上出
大三島・橋本・古川・杉本・駒井・田中

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		事 6人 個 8人	事 6人 個 3人	個 1人	12人
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		事 1人 個 3人	事 11人 個 8人	個 1人	12人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		事 4人 個 4人	事 8人 個 8人		12人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	個 1人	事 4人 個 4人	事 8人 個 7人		12人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	個 2人	事 9人 個 7人	事 3人 個 3人		12人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・利用者の出来ること、得意なことなどを日常的に関わることが出来るように、職員の対応や環境等を整え、利用者との日々のかかわりをチームとして実行していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない
	B:利用者の好みや趣味、傾向などを職員間で共有することができており、日々の生活の中に取り入れていくことが出来ている時もあるが、職員の人員や体制などが整わず、日によっては、職員の都合に合わせた活動提供を行なう時も少なからずあった。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	・利用者の得意なこと、能力などの出来る力を職員間で情報共有が出来ている。 ・利用者が楽しみを持って過ごせるよう、昔ながらの役割や仕事、季節を感じる活動提供が出来ている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	・集団での活動提供は出来ているが、レクリエーション活動のマンネリ化や利用者一人ひとりに合わせた活動提供が出来ない時がある。 ・コロナ渦により、事業所内での活動提供が多く、利用者の生活意欲を引き出すことが出来なかった。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・利用者の目標や想いを聞き出していない、理解していないことがある。職員間での情報共有を密に図り、共通認識を持って関わりを持つことが必要である。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

	・日々の関わりの中での会話等を通して、利用者の願いや想い、強みなどを探り、職員全員に周知が図れるようシートに記載し、その情報の把握出来るよう職員への意識付けを全体会議等で行なっていく。 ・コロナの状況に配慮し、利用者の楽しみに繋がる活動を検討、企画を行なっていく。
--	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月9日(月) 18:00~21:00

3. 日常生活の支援

メンバー 佐藤・久木田・横田・志戸田・武田・上出
大三島・橋本・古川・杉本・駒井・田中

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		事 9人 個 7人	事 3人 個 5人		
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		個 2人	事 12人 個 9人	個 1人	12人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	個 1人	事 11人 個 10人	事 1人 個 1人		12人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	個 1人	事 5人 個 10人	事 7人 個 1人		12人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	事 1人 個 2人	事 11人 個 9人	個 1人		12人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	事 1人 個 2人	事 11人 個 9人	個 1人		12人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・利用者の「～したい」などの想いや気持ちなど、受け止め、支えていくことを事業所として共有するために、記録に想いや気持ちなどの記入していくことを意識的に取り組んでいく。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない
A:身体状況だけではなく、その時の利用者が感じていた想いや気持ちなどが記録や申送り時等で、職員間で引き継ぎされていることが多くなってきている。しかし、言葉で表現する利用者については、しっかりとチームとして対応できているが、自らの想いや気持ちなどを表現しない、できない利用者については、その想いや考えを引き出せず、寄り添えていない事もある。	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・利用者毎の抱える想いや気持ちに寄り添い、会話することを職員間で意識的に取り組んでいる。 ・身体的な変化だけではなく、利用者の言葉など気になることは、記録に記載し、引き継ぎやスタッフ会議で報告することで、共有を図ることが出来ている。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・職員毎に利用者の身体状況、想いや気持ちなどの情報についての受け止め方や感じ方に違いがあり、チームとして方向性を統一出来ていない為に、関わり方や支援内容にバラつきがあり、混乱することがある。	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・利用者の基本情報や想いなど、全体に周知が図れていない事で、情報が職員間で情報量や受け止め方に違いがあり、関わり方や支援を統一出来ていない。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・職員が利用者の生育歴や家族関係など持っている、知りえた情報について、基本情報に追加で記載することを徹底し、職員全体に伝わるようにミーティング等で情報を発信し、職員間の情報共有を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月9日(月) 18:00～21:00

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐藤・久木田・横田・志戸田・武田・上出
大三島・橋本・古川・杉本・駒井・田中

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		事 4人 個 5人	事 8人 個 6人	個 1人	12人
②	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		事 4人 個 7人	事 8人 個 5人		12人
③	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		事 7人 個 7人	事 5人 個 5人		12人
④	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		事 1人 個 2人	事 11人 個 10人		12人
⑤	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		事 4人 個 2人	事 8人 個 9人	個 1人	12人

II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	
	・利用者がどのように地域で暮らしてきて、何を思っているのか、何を大切に暮らしてきたのか、ゆっくり話を聞く機会を持ち、利用者への理解を深めていく。 ・事業所と地域での暮らしが途切れる事なく、継続的に繋がることできるように、今後も継続して地域行事を開催していく。
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない C:利用者の現在の状況の話を書くことはあったが、これまでの生活などの過去について話を聞き、事業所として共有することは少なかった。また、コロナ渦により、地域行事も開催出来ていない状況である。
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	・利用者への理解を深めようと努力している。 ・日々の会話やかかわりの中で、その方の生活歴や思考などを聞き出す努力をしている。聞き得た情報は職員間で共有してケアに活かしている。
④ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できていない点	・利用者とはゆっくり会話し、その人を理解しようとする機会が少なく、業務優先になりやすかった。 ・コロナ渦により、利用者が地域住民との交流が図れていなく、地域行事の開催も出来なかった。

III. 現状の取り組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・介護職員は、事業所で利用者に関わることがほとんどであり、利用者の生活状況や自宅環境など把握出来ていない部分が多くある。 ・職員により、利用者や地域の情報についての理解に差があり、支援に活用できていない。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

	・介護職員がケアマネの訪問時に積極的に同行し、利用者の生活状況や家族関係など理解を深めていく。 ・コロナ渦に合わせた地域行事の開催又は事業所と地域との繋がりが途切れることがないように、これまでとは違った方法での交流が図れるよう検討し、事業所の情報を積極的に発信していく。
--	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月9日（月）18:00～21:00

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐藤・久木田・横田・志戸田・武田・上出
大三島・橋本・古川・杉本・駒井・田中

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		事 4人 個 3人	事 8人 個 9人		12人
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		個 6人	事 12人 個 6人		12人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	事 7人 個 3人	事 5人 個 6人	個 3人		12人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	個 1人	事 12人 個 11人			12人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	事 2人 個 1人	事 10人 個 10人	個 1人		12人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・利用者、家族、地域の声を聞きながら、継続的に事業所の理解が得られるような機会を持ち、適切なサービス支援を行ないながら、利用者の生活の質や家族の介護力の向上を目指した関わりができる。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない
B:利用者、家族、地域からニーズの声が聞こえてきた時には、すぐ状況を観察し、対応することが出来ている。サービス内容についても、その日の状況に応じて臨機応変な対応が出来ているが、家族に対して、介護の助言等は行なっているが、それが直接的に介護力の向上や介護負担の軽減に繋がっていないことがある。	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・日々変わる利用者の状況を観察し、家族の介護力等を考慮しながら、必要なサービス提供の判断をし、チームとして、すぐ対応することが出来ている。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・家族の状況によっては、継続的に関わりを持つことが出来ていなく、家族の介護の理解や介護力の向上に繋がっていない。	
・利用者や家族の意向や想いが職員全体に伝わらないまま、サービス提供を行なっている時がある。	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・コロナ渦において、地域の資源を活用して支援が出来ていなく、地域との繋がりも希薄になってきている。	
・利用者の状況に応じて、今後も適切で即日対応が求められている現状がある。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・ニーズに応じて、適切なサービス提供を行ない、臨機応変に柔軟な支援をしていく。
・地域には、どのような物があり、どのような人がいるのか、など職員全体で把握し、コロナ渦における地域資源の活用方法にスタッフ会議等で検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月16日（月）18:00～20:30

6. 連携・協働

メンバー 佐藤・久木田・横田・志戸田・武田・上出
大三島・橋本・古川・杉本・駒井・田中

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 1人	事 9人 個 5人	事 3人 個 4人	個 2人	12人
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		事 6人 個 2人	事 6人 個 6人	個 4人	12人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	事 2人 個 1人	事 10人 個 5人	個 1人	個 5人	12人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		事 7人 個 3人	事 5人 個 5人	個 4人	12人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		事 10人 個 3人	事 2人 個 5人	個 4人	12人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・地域や各関係機関と日頃から情報共有を図り、何かあった時に相談できる、助け合いが出来る関係性を深めていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない A:事業所として、何か相談事や地域のニーズをキャッチした際には、すぐ関係機関と情報共有を図る事が出来ており、即日対応することが出来ている。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・各関係機関との相談、情報共有が図れている。 ・地域連携室や包括支援センターなど連携が図れており、課題に対して対応できる体制が構築されている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・会議への参加は管理者やケアマネが多く、現場職員の会議参加は少ない ・コロナの影響で、行事が軒並み中止になり参加できていない状態なので、子ども等の地域住民が事業所に来れない状況である

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること ・会議参加対象者となりやすい管理者やケアマネ以外の職員にとって、それぞれの会議の目的や内容等、全く知らない状況であり、事業所の理解が深まっていない。
------------------------	--

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・会議の目的や内容に応じて、管理者やケアマネ以外にも、適切な職員が参加できる場合は、積極的に外部への会議に参加できる体制を整えていく。また、会議の内容等に応じて、適切に情報管理を行ないながら、全体会議等で、他の職員にそれぞれの会議の周知と理解を図っていく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月16日（月）18:00～20:30

7. 運営

メンバー 佐藤・久木田・横田・志戸田・武田・上出
大三島・橋本・古川・杉本・駒井・田中

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？		事 1人 個 5人	事 11人 個 7人		12人
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？		事 3人 個 8人	事 9人 個 4人		12人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	個 1人	事 9人 個 10人	事 3人 個 1人		12人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		事 12人 個 10人	個 2人		12人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	個 2人	事 8人 個 6人	事 4人 個 4人		12人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の声を聞き、より良い環境づくりに向けた話し合いの場を持ち、職員全員で共通認識を持って行動する。 ・運営推進会議や他の会議で得た情報の取り扱いに気を付けて、共有することが出来る内容については、情報提供を行ない、職員間の意識を高め、連携を図っていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない
	C:地域からの声が聞こえた時には、すぐ全体会議に落とし、職員で検討している。しかし、地域の声が聞こえて来ない、拾えていないことも多くある。また、運営推進会議には、役職のみではなく、現場の介護職員も参加できるように体制を整えようとしていたが、書面開催により新たな職員が参加できていなかった。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・課題があった時には、より良い環境づくりに向けた話し合いを全体会議等で検討することが出来ている。 ・他の職員に共有できる情報については、全体会議等で周知が図れている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での共通認識が出来ていない部分があり、環境づくりに反映出来ていなかった。 ・事業所の運営状況について、コロナの影響もあり、情報発信が全く出来ていなかった。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々に相談窓口として、継続して事業所の理解が深まるように働きかけていくことが必要である。コロナ渦により、事業所と地域との関わりの機会が減少し、繋がりが希薄となってきた。コロナ渦に合わせた地域との関わり方を検討していく。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の相談拠点の一つとして、普段から地域の方が何を求めているのか、地域に何が必要なのか等意識するように心がけ、全体会議等で検討していく。また、地域に事業所の理解や認知症等の知識普及を目標とした事業所便りを発行していく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月16日（月）18:00～20:30

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤・久木田・横田・志戸田・武田・上出
大三島・橋本・古川・杉本・駒井・田中

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 2人	事 12人 個 5人	個 5人		12人
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	事 1人 個 4人	事 11人 個 6人	個 2人		12人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	個 2人	事 9人 個 9人	事 3人 個 1人		12人
③	地域連絡会に参加していますか	個 1人	個 4人	事 3人 個 5人	事 9人 個 3人	12人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	個 2人	事 10人 個 8人	事 2人 個 2人		12人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・今後も継続して、誰が何の研修に参加しているのか、周知を図り、研修内容については職員全員で話し合う機会を作り、事業所で取り組んでいき、職員全体に還元できるように取り組んでいく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない B:勤務表や月間予定表等に、誰がどの会議や研修に参加しているのか記載し、周知を図った。その後、全体会議で参加者に研修内容や感想、学んだことなど報告する機会を持つことが出来たが、事業所に取り入れていくことは、あまり出来なかった。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・全体会議で、ヒヤリハットや事故について、職員全員で一つひとつ検討し、改善する事が出来ている。 ・研修について、職員間で共有することが出来ている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・職員が参加した研修について、知識の共有は図れているが、実技や実践について検討することが出来ていなく、事業所に取り入れていくことが出来ていない。 ・他の事業所の状況把握や情報交換が図れていない、又は職員間で共有することが出来ていない。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること ・コロナの影響により、研修参加の機会が少なく、事業所外の新たな知識や実践など情報が途切れてしまっている。また、参加した研修内容など、職員全体に伝えているが、全員に共有が出来ていなく、チームに活かされていない。
------------------------	--

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・職員のスキルアップのために、何が事業所として足りないのか全体会議等で洗い出し、それに基づいた内部研修を行う。 ・積極的に外部との情報発信、情報共有に努め、他事業所の状況や実践ケースなど、全体会議等で、全職員に周知し、取り入れていくことが出来てくるか検討の機会を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月16日（月）18:00～20:30

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐藤・久木田・横田・志戸田・武田・上出
大三島・橋本・古川・杉本・駒井・田中

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	事 1人 個 1人	事 4人 個 7人	事 8人 個 2人	個 2人	12人
①	身体拘束をしていない	事 3人 個 9人	事 9人 個 2人	個 1人		12人
②	虐待は行われていない	事 7人 個 8人	事 5人 個 4人			12人
③	プライバシーが守られている	個 3人	事 8人 個 7人	事 4人 個 2人		12人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	個 1人	事 7人 個 6人	事 5人 個 1人	個 4人	12人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	個 3人	事 11人 個 8人	事 1人 個 1人		12人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・利用者の基本的な人権、尊厳とはなにか、常に考えて行動することが出来るよう、毎月のスタッフ会議で理解を深めていく話し合いの機会を持つ。また、職員が自分自身の覚知を深めていき、自身の傾向を知ることができる。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:まったくできていない B:利用者についての権利や尊厳について考えながら関わりを持つことが出来た。また、全体会議等で振り返る機会を持つことができ、職員全員で意識的に取り組むことが出来た。しかし、専門職として、自己覚知の理解まで至っていない。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・トイレ誘導時など、他者の目などに配慮しながら声掛けをしている。 ・スピーチロックに繋がる「待って」や「後で」は、使わない様に意識し、どうしても使う場合には利用者に対して、しっかりと説明することを心掛けている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・利用者の疾患状況や業務状況に応じては、その利用者の意向に沿えず、職員優先の支援になっていることもある。 ・自分自身の覚知を深める機会を事業所として持っていない。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること ・職員の価値観や知識、経験によって対応や支援に違いが出ることもあり、利用者本位の支援が出来ていない事があり、個々での自分自身の自己覚知の理解が深まっていない。
------------------------	---

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・職員同士で提供するサービスや支援の在り方に対して、自由に意見や検討できる場を全体会議に持ち、利用者の支援について考えていく。 ・職員個々に自分自身と向き合い、自己覚知を深めることで、気持ちをコントロールし、モラルの低下や虐待に繋がらないよう予防していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・ 事業所 の特徴	本別町社会福祉協議会が運営する事業所。 本別町市街地からは離れた所に立地している。 地域住民の方々の理解と協力を得ながら運営しており、利用者の方々の住み慣れた地域 で生活していただくという考えのもと、地域密着型の介護保険事業所としてその機能を 担っている。
事業所名	勇足小規模多機能型 居宅介護事業所 「ゆうあいの里」	管理者	管理者 佐藤 貴浩		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> 各項目に対して、目標値が可視化できるものは数値を設定していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価も含め、各項目について、目標の具体的かつ数値化できるものは数値を設定するように取り組んだ。 		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響により、運営推進委員が事業所に訪れる機会が減少し、事業所の状況が分からないこと、目に見えない所が多くなってきている。各項目の内容について、誰が見ても分かりやすく、評価しやすいように設定していく。
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ゆうあいの里専用の郵便受けを設置する。 ふれあいの家居住者の郵便物については、郵便局をお願いして、個人の郵便受けに入れてもらうようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆうあいの里専用の郵便受けを設置し、そこに配達して頂けている。以前の様に玄関に郵便物が置かれている状態はなくなり、事業所としてのしつらは改善された。 ふれあいのいえ入居者が個人で新聞等を利用されており、個人の郵便受けを活用されている。 本別町社協として、タブレット等を各事業所に導入し、オンラインでの面会ができるようにした。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業所の外観と内観、花壇や野菜畑など含め、利用者や地域から気持ち良い事業所として思ってもらえるよう日々の事業所内外の環境を整えていく。
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域で安心して暮らし続けられるように、地域の困りごと全般のニーズをキャッチし、気軽に相談しやすい相談窓口としての機能を果たすことが出来るように、地域住民が参加しやすいよう地域行事を企画し、事業所から積極的に関わりを持っていく。 事業所から利用者、職員が地域での活動（散歩や清掃活動など）に出向き、交流を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆうあいの里の相談受付体制や事業所の広報活動を行っていない。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各関係機関との会議が書面開催となっていた為、参加できず、地域における情報共有、ニーズの把握等できていない。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業所の活動や普段の様子、地域の相談窓口としての機能をゆうあい便りなどの広報活動を積極的にPRし、コロナ禍においても地域と繋がりが途切れることなく、事業所の認知と相談しやすい環境を整えていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民へのアウトリーチの他、引き続き、勇足いきが館運営委員会、勇足元町自治会総会等に積極的に参加し、ニーズ把握に努めるとともに、ゆうあいの里の相談受付体制の宣伝や事業所の宣伝を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域行事を行なうことが出来なく、地域と関わりを持つ機会がなかった。 利用者と職員が散歩等で、地域に出かける機会は持っていたが、地域住民との交流を図ることは出来なかった。 		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において、地域に出向くということが難しい状況だが、適切にリスク管理を行ない、利用者が事業所内だけで過ごすのではなく、地域と関わりを持てるように取り組んでいく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で安心して暮らせる体制を整えていくために、引き継ぎ運営推進会議を活用して、「地域の困りごと・相談について」「事業所の運営状況」についてなど、協議の機能を持ち、事業所だけではなく、地域全体を捉えたより良い運営に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に参加する職員を管理者、補佐を固定しているが、主任以下を交代制にし、全員が参加できる機会を持ち、運営推進会議委員との顔なじみの関係性を事業所全体で取り組んだ。しかし、コロナ禍において、書面開催となる機会が多く、会議の場面が少ないことで、協議の機能が低下しつつある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、運営会議が書面開催となることで、事業所の様子が分からないことが多くなる為、運営推進会議での情報発信や共有、協議の在り方について見直し、委員の方々に日々の事業所の様子が分かるように取り組んでいく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加の可否にかかわらず運営推進委員については訓練の周知を図る。 ・より実践的な抜き打ち訓練を検討していく。 ・実際の夜間の訓練を検討していく。 ・気象庁の警報基準等が頻繁に変わるため、非常災害対策計画の作り直しが進んでいないため、最新の情報に基づいた計画に改める。 ・水害時の避難訓練についても検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、運営推進委員に周知を図り、参加できる委員の方には、車いす利用者の誘導など、実践場面を想定し、訓練を行なうことが出来た。 ・非常災害対策計画の作り直し、水害時の訓練についての検討についても協議できていない状況である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも、適切なリスクマネジメントを行ない、地域と協働した避難訓練を行えるように取り組んでいく。 ・最新の情報に基づいた非常災害対策計画の作り直しを行なっていく。また、風水害時を想定した車両での避難誘導も検討していく。